

氏名	村田健児	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	運動器理学療法学、基礎理学療法学				
学位	博士（健康科学）				
学歴	2005年4月 - 2009年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 2012年4月 - 2014年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 リハビリテーション学専修修了 2015年4月 - 2018年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士後期課程修了				
経歴	2016年2月 - 2016年8月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 非常勤職員・非常勤講師 2016年9月 - 2017年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教（産休代替） 2018年4月 - 現在に至る 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教				
所属学会（役職）	日本理学療法学会、埼玉県理学療法学会（学術局編集部）、専門リハビリテーション研究会（編集委員）、肩関節学会、日本軟骨代謝学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	関節不安定性が関節構成体に及ぼすメカノセンシング	単著	あり	月刊細胞（北隆館ニューサイエンス社）	村田健児, 国分貴徳, 金村尚彦	2019.11
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Controlling joint instability after anterior cruciate ligament transection inhibits transforming growth factor-beta-mediated osteophyte formationなし	共著	あり	Osteoarthritis and Cartilage 27: 1185-1196, 2019	Kenji Murata, Takanori Kokubun, Katsuya Onitsuka, Yuichiro Oka, Takuma Kano, Yuri Morishita, Kaichi Ozone, Nozomi Kuwabara, Jyunji Nishimoto, Takuya Isho, Kiyomi Takayanagi, Naohiko Kanemura	2019.5
2	Acute molecular biological responses during spontaneous anterior cruciate ligament healing in a rat model.	共著	あり	Sport Sciences for Health, 15, 659-666.2019	Yuri Morishita, Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun, Kenji Murata, Kiyomi Takayanagi	2019.5
3	Impact of Controlling Abnormal Joint Movement on the Effectiveness of Subsequent Exercise Intervention in Mouse Models of Early Knee Osteoarthritis	共著	あり	Cartilage, 2019 (Accepted)	Yuichiro Oka, Kenji Murata, Kaichi Ozone, Takuma Kano, Takanori Kokubun, Naohiko Kanemura	2019.8
4	Use of thermal sensors for fall detection in a simulated toilet environment	共著	あり	International Journal of New Technology and Research (IJNTR). 5(11):21 - 25. 2019	Satoshi Shirogane, Hitomi Takahashi, Kenji Murata, Satoshi Kido, Tomoya Miyasaka, Tadafumi Saga, Shuhei Sakurai, Toyohiro Hamaguchi, Toshiaki Tanaka	2019.11
5	膝前十字靭帯自己治癒過程における転写因子Nuclear Factor - kappa Bの作用	共著	あり	理学療法－臨床・研究・教育2020 (Accepted)	森下佑里, 国分貴徳, 村田健児, 黒尾 彩, 金村尚彦	2020.3
6	リバース型人工肩関節患者におけるリーチ動作のバイオメカニクス	共著	あり	理学療法－臨床・研究・教育2020 (Accepted)	村田健児, 小林章	2020.3
7	前十字靭帯損傷後の関節制動が筋萎縮関連因子に及ぼす影響	共著	あり	理学療法－臨床・研究・教育2020 (Accepted)	村田健児, 岡優一郎, 加納拓馬, 藤原秀平, 金村尚彦	2020.3

8	下腿切断と大腿切断で歩行できた症例	共著	あり	理学療法－臨床・研究・教育2020 (Accepted)	松本純一, 久保和也, 村田健児, 榊聡子, 山崎知美, 坂元博, 寺部雄太, 大平吉夫, 安藤弘	2020.3
9	胸鎖関節炎と拘縮肩を合併した一症例	単著	あり	理学療法－臨床・研究・教育2020 (Accepted)	村田健児	2020.3
10	血行再建術後の重症下肢虚血患者に対する低侵襲下選択的経皮アキレス腱延長術の治療経過報告	共著	あり	日本下肢救済・足病学会誌. 11(3):99-103.2019	亀田 光宏, 松本 純一, 久保 和也, 榊聡子, 村田 健児, 寺部 雄太, 大平 吉夫, 安藤 弘	2019.11

(3) 学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	住民が自主的に運営する骨粗鬆症と転倒の予防教室の長期的効果	共同	骨代謝学会	○藤縄理, 菊本東陽, 須永康代, 村田健児, 善生まり子, 内山真理・萱場一則, 廣瀬圭子, 荒木智子, 遠藤直人	2019.10
2	遠心性収縮は筋を肥大させるが骨付着部（Enthesis部）には構造的変化を引き起こす	共同	関東甲信越ブロック理学療法学会	○伊藤遼佑, 小曾根海知, 岡優一郎, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2019.9
3	The Effect of Exercise for Denervated Muscle Atrophy in a Mouse Model of Sciatic Nerve Transection	共同	ISPRM 2019	○Junji Nishimoto, Yuki Minegishi, Minoru Uto, Kenji Murata, Takanori Kokubun, Naohiko Kanemura	2019.6
4	骨粗鬆症と転倒の予防教室の短期的効果	共同	第6回日本サルコペニア・フレイル学会	○藤縄理, 菊本東陽, 須永康代, 村田健児, 善生まり子, 内山真理, 萱場一則, 廣瀬圭子, 荒木智子, 遠藤直人	2019.11
5	熱画像センサによるトイレ内模擬片麻痺患者の動作検出	共同	第8回支援工理学療法学会学術大会	○木戸聡史, 宮坂智哉, 佐賀匡史, 村田健児, 高橋ひとみ, 櫻井秋平, 濱口豊大, 星文彦, 久保田章仁, 田中敏明	2019.8
6	通所リハビリテーション施設における熱画像を用いた見守りシステムの有用	共同	第8回支援工理学療法学会学術大会	○櫻井秋平, 木戸聡史, 宮坂智哉, 岡田哲也, 山下貴之, 白銀暁, 村田健児, 星文彦, 濱口豊大, 田中敏明	2019.8

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 科学研究費補助金（若手B）	関節不安定性に着目した軟骨変性メカノバイオロジ	研究代表者	2017.4-2020.3
2	文部科学省 科学研究費補助金（基盤C）	正常な自由運動と損傷組織への力学的ストレスは前十字靭帯と半月	研究分担者	2019.4-2023.3
3	平成31年度埼玉県立大学奨励研究費（S）	非膨潤性ハイドロゲルを基材とした関節緩衝材の開発と関節内固定	研究代表者	2019.4-2021.3

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	発達障害理学療法・同実習		2	脳性麻痺についての講義
2	身体構造運動学	○	10	上肢・脊椎に関する講義：講義録画、VOD
3	生体力学応用分析学	○	8	組織・生化学実験研究についての2名1組のハンズオントレーニング

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	理学療法特別演習		1	4年生に対し、国家試験に関わる領域の解説
2	理学療法セミナーⅠ (OSCE1)		3	3,4年生に対し、科目担当者として試験監督とフィードバックを担当
3	理学療法セミナーⅡ (OSCE2)		3	3,4年生に対し、科目担当者として試験監督とフィードバックを担当
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	運動学実習		10	2年生に対し、運動学についての実習
2	機能診断学実習		12	2年生に対し、上肢整形外科テストの講義、実習
3	臨床教育実習Ⅰ		2週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当
4	臨床教育実習Ⅱ		5週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当
5	臨床教育実習Ⅲ		8週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当
6	臨床教育実習Ⅳ		5週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当
7	IPW実習		4日間	4年生に対し、4日間の実習を通して、多職種連携について実践・指導
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1			主指導 名	副指導 名
2			主指導 (指導教員) 名	副指導 (指導補助教員) 名
3			主指導 (指導教員) 名	副指導 (指導補助教員) 名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	理学療法学科2年生 副担任	2019.4-2020.3	学生の指導、面談等を実施	
2	春日部市立看護専門学校 (非常勤講師)	2019.4-2020.3	人体の構造と機能に関する講義と試験・国家試験対策	
3	国立リハビリテーションセンター学院 義肢装具学科 (非常勤講師)	2019.4-2020.3	運動学 (肩・肘) に関する講義と試験	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	臨床実習指導者を対象とした講習会	埼玉県立大学	肩関節疾患の理学療法	2019.8
2	医療法人社団草加整形外科内科 講習会	草加整形外科内科	医療法人社団草加整形外科内科 講習会	2019.8
3				
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県理学療法学会	学術局編集部		2019.4-2020.3
2	専門リハビリテーション研究会	編集委員		2019.4-2020.3
3				
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	広報こしがや	四十肩・五十肩の痛みに対する誤解		2020.2
2				
3				
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	草加整形外科内科	院内理学療法士 教育支援	2019.4-2020.3
2	産業支援	やつか整形外科内科	院内理学療法士 教育支援	2019.4-2020.3
3	産業支援	山手クリニック	院内理学療法士 教育支援	2019.4-2020.3

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員会	2019.4-2020.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験管理部会（実験動物管理者）	2019.4-2020.3
3			
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	第28回埼玉県理学療法学会 学会奨励賞受賞（共著者）	埼玉県理学療法学会	2020.1
2	第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会 奨励賞（共著者）	日本理学療法協会	2019.10
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			